

## スウェーデン政府の国民年金基金保有不動産会社 Vasakronan AB が発行する「グリーンボンド」への投資について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、「Vasakronan AB」（以下、「ヴァサクロナン」）が発行するグリーンボンド（注1）に80百万オーストラリア・ドル（約61億円）を投資しましたので、お知らせします。

スウェーデンの4つの国民年金基金が100%保有する、北欧最大級の不動産会社であるヴァサクロナンは、2009年以来、保有ビルのエネルギーパフォーマンスの改善に取り組んでおり、2013年11月に事業会社からの発行では世界初となるグリーンボンドを発行しました。

本債券の調達資金の一部もしくは全ては、ヴァサクロナンの「グリーン・ファイナンス・フレームワーク」に基づき、低炭素化や気候変動の影響に対処するためのグリーンビルディングの建設および修繕、省エネ設備の導入および太陽光発電等のグリーンビルディング事業、再生可能エネルギー事業に充当される予定です。

当社は、「ESG投融資方針」（注2）に則り、資産運用業務においては、国連責任投資原則（PRI）への署名などを通じて、ESGの観点から投融資の意思決定に組み込むことを推進しています。引き続き、ESG投融資を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する資産運用を行なってまいります。

### 【本債券の概要】

発行体	Vasakronan AB
社債の発行・購入額	80百万オーストラリア・ドル（約61億円）
資金用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 照明・HVAC（暖房、換気、および空調）の機器向上や大規模改修による建物のエネルギー効率の改善</li> <li>② 再生可能エネルギー発電力を備えたビルおよび/または太陽光、風力、地熱電源に分散可能な再生可能エネルギー供給網を備えたビルの建設</li> <li>③ 再生可能エネルギーの購入</li> <li>④ 熱エネルギー貯蔵、バッテリーとデマンドレスポンスシステムを備えることによるピーク電力の低減</li> <li>⑤ 廃棄物管理によるリサイクル率向上</li> <li>⑥ 雨水の確保・再利用、屋上に植生・緑の導入、造園における飲料水の未使用、水道メーター・モニターシステムの配置による、飲料水の消費/廃棄の最小限化</li> <li>⑦ 電気自動車の充電スタンドや自転車施設の設置によるクリーンな交通インフラの整備</li> <li>⑧ 今後50年以内に推定される気候変動を基に、気候変動リスクの分析および気候変動へのビルの適応（例：より大きな積雪に耐える屋根の増設や、雨水の適応容量の増加等）</li> </ul>

払込期日	2020年8月26日
償還期限	2030年8月26日（10年）
アレンジャー	SMBC日興証券株式会社
対応するSDGs目標	

（注1）本債券は、第三者認定機関である The Center for International Climate Research (CICERO) 社よりセカンドパーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会（ICMA: International Capital Market Association）が公表する「グリーンボンド原則2018（GBP）」の基準を満たす発行に該当することを確認済み

（注2）2020年5月22日付ニュースリリース「ESG投融資方針の公表について」  
[https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522\\_05.pdf](https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2020/pdf/20200522_05.pdf)

以上